

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストキッズ稲毛海岸教室 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年 1 月 30 日 ~ 2026年 2 月 15 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年 1月 30日 ~ 2026年 2月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少数なので、個別と小集団療育を行い、きめの細やかな対応がなされている。	子ども一人ひとりの強みや弱みを抽出して、長所を伸ばし、短所を補うきめ細やかな支援を行っている。	学校生活で困る事がないように、子どもや保護者から状況を聞き取り、さらなる支援につなげていく。
2	保護者との連携により、学校での困りごとなどを共有して、速やかに支援につなげている。	集団生活や学習面等、学校や日常生活での困り事が減るようにプログラムを構成して支援している。	子どもから直接相談を受けられるように、コミュニケーションを深め、信頼関係を構築していく。
3	全体発達を促す為、学習面だけでなく、言葉や友だち等とのコミュニケーション力を高めるため、職員自身が研修等で自身のスキルアップに取り組んでいる。	子どもの全体発達を促し、健全な社会生活が営めるように意識して支援に取り組んでいる。	学習面のみならず、コミュニケーション力を身につけるために、ゲームや小集団活動など、ルールや他者との連携が図れる活動を取り入れて行く。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援が中心なので、小学生は小人数しか受け入れられない。	送迎が無い為、利用者が土日に集中してしまう。	可能な限り、小学校に上がってからも療育が受けられるように、放デイ枠を広げて行くようにしたい。平日の利用希望者を増やすようにしたい。ただ、物理的に送迎は現時点では難しい。
2	小集団活動が屋内でしか行えないこと。	利用時間の関係で、屋外での活動ができない。	保護者と意見交換しながら対策を考えて行きたい。

3	感覚統合に伴う運動系の支援が難しい。	巧技台のような運動具を用意し、全体発達を基本とした療育を提供できるようにする。	改善を図るために巧技台を導入する。
---	--------------------	---	-------------------